



どしどしあ〜

いかがおすごしですか？

できる人がいる 挑むひとがいる



Vol.58
隔月20日発行

丸喜株式会社齋藤組

本社 〒030-0822 青森市中央二丁目 2-12
TEL:017-777-3329 FAX:017-723-1796
展示場 〒030-0843 青森市浜田一丁目 7-10
TEL:017-729-8832 FAX:017-762-1648
HP <http://www.marukisaito.com>
E-mail tenji@marukisaito.com

展示場ZERO 5月26日 OPEN

展示場 ZERO は近代적でおおらかな北欧住宅をモチーフにしています。高い天井と明るい白い壁の室内は、とても開放的。居間スペースからそのまま続いているようなウッドデッキは、家族や友人同士で充実した時間を四季折々ゆったり楽しめる空間です。

天井板と太い梁は青森県産の杉、床は木調フローリングと、丸喜齋藤組らしい木のぬくもりが感じられる仕上がりになっています。そして壁材には耐久性を高めるために陸奥湾産ホタテ貝の粉末を練り込むなど、県産にもこだわっています。また、断熱性に優れた木製サッシの三重窓ガラス、遠赤外線効果のある壁、そして床暖房は全館完備。北欧にも負けない豪雪青森の冬。スマートで温かな北欧住宅に青森らしさをプラスした、丸喜齋藤組の展示場「ZERO」です。



世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」がいよいよ7月に国からユネスコへの推薦決定か。写真は三内丸山遺跡の復元住居。(1991年、丸喜齋藤組施工)

木材をふんだんに使用

展示場に入った瞬間、「木のぬくもり」を感じていただけると思います。天井にもふんだんに木材を使用しています。杉材のやわらかさが温かい空間を創りだしています。

ダヴィンチコート

映画のダ・ヴィンチ・コードではなく、コート(笑)。防音や防臭、空気清浄、湿度のムラを防ぐ、音を遮断するなど、さまざまな効果がある優秀な塗料です。さらに、青森と言えばホタテ。丸喜では、耐久性を向上させるために、ダヴィンチコートにホタテの貝殻の粉末を混ぜて使用しています。

パーゴラのあるウッドテラス

リビングからは、自然らしさが心地よいテラスを望めます。ガーデニングをしたり、家族や仲間とパーティーをするのもよし。屋外用のベンチに座って、ゆっくりと読書をするのもいいですね。住宅街の中にあることを、ふっと忘れそうなオアシス空間です。



電気自動車充電スタンド

2025年頃から、内燃料車から電気自動車へ、急激にシフトと言われています。

線路の枕木

玄関前は枕木を使用し、おしゃれに演出。花壇の使い方で、室内からもさりげなく季節の風景が楽しめます。

キッチン

主婦にとってキッチンは大切な仕事場。大事なことは、オシャレでいて、使い勝手がいいこと。モダンでコンパクトでスッキリしたキッチンは、奥様方のあこがれです。

リビング

ダイニングキッチン、2階フロア、テラスにつながり、奥行きを感じるリビング。階段と2階フロアのガードを透明ガラスにしていることも開放感のポイントです。

木のぬくもり・2階フロア

2階にはロフト付きの2部屋があります。東側の部屋に配置した大きなデスクは、勉強も仕事もきつとはかどりそう。サッシは木製で「(株)日本の窓・十和田工場」の製品。タテにも横にも開くことができる優れものです。

杉の浴室&ヒノキ風呂

お風呂の空間を贅沢に。浴室の壁と床には杉、浴槽はヒノキを使用しています。脱衣所と浴室の間には、透明なガラスだけの開放的で大胆な設計。

モールテックス

一見、石材かな?と思わせる高級感。展示場 ZERO では、メインテーブルや脱衣所の流し台の木材に使用している塗料が今業界で話題の「モールテックス」です。「コンクリートの5倍の強さ」といわれ、物を落ととしても割れにくく、角が欠けたりということもほとんどありません。さらに、防水性、摩耗耐性も高いんです。



■展示場 ZERO
所在地：青森市浜田一丁目 8-1
敷地面積：265.43㎡ (80.26坪)
規模：地上2階
構造：木造
※開場時間：午前10時～午後4時

1 地盤補強

事前の地盤調査の結果に従い、規定の地盤補強を行います。今回は既存RC杭を地盤に打込みました。当社では一般的な円筒形の杭ではなく、X形状の杭を採用しています。これにより、東西南北いずれの方向にも同等の高い強度を保ち、円筒形に比べより強い支持力をもつことが出来ます。

2 若手大工

入社5年目の若手の大工です。先輩の背中を見て、しっかり成長しています。細かく難しい作業も親方にまかせられ、果敢に挑んでいます。

3 杉板

外装の下見板の材料になる杉板です。当社の乾燥機にて十分に乾燥した上、検品を行い良い状態の物を、厳選した物を、加工し、使用しております。

4 床の下地

床暖用の温水パイプを布設した後、モルタルを流し込み、床の下地を作ります。青く見える物は、高性能断熱材であり、温まった熱を床下に逃がさず、流し込んだモルタルに、しっかりと蓄熱され最低限のボイラーの運転で、長時間の暖かさを実現しています。

5 断熱の仕様

屋根：40mm 発泡ウレタンボード
 小屋裏：150mm 現場発泡ウレタン
 外部壁：40mm×2（80mm）発泡ウレタンボード
 内部壁：100mm 高性能グラスウール16kg
 床：40mm 発泡ウレタンボード
 というように、まさに分厚い断熱材につつまれた住宅になっています。

6 7 上棟式

上棟式の様子と記念撮影。社長を始め、専務、職員一同で安全祈願祭を行いました。

8 9 モールテックス

3 着色自在な、デザインコンクリートと呼ばれるまったく新しい左官塗材「モールテックス」。室内外問わず、あらゆる場所に使用できます。特別な技術講習を受けた職人しかあつかえない分、見事な仕上がりになっています。

9 塗り→みがきを3回行うことで、見事な質感を得る事ができます。

10 看板製作

オーダーメイドによる看板製作風景。内部にLED照明を組み込む事で、高い位置に取付けた看板でも、夜には、しっかり印象的に映し出すことが出来ます。



11 内部、造作

内部、造作の光景です。当社が長年引きつぎ、もっとも得意とする、細部にこだわる造作技術です。既製品によるコストダウン、簡略化が行われる今、一から作る造作のこだわりは、この先も続けていきます。

12 上り天井

上り天井へ仕上げ材の杉板をはめ込んでいる光景です。幅の狭い板を組み込んでいくため、少しのずれが後々影響してくるため、2人の息の合ったコンビネーションを必要とします。

13 建方

現場において、構成材を組み立てる「建方」の光景。まさに今、この建物の顔でもある、上り大梁を組み込む作業です。どれも息をのむ瞬間です。

14 階段の設置

階段設置の様子。ここは、リビングの風景としても大事な要素になります。

15 パーゴラの設置

外部、デッキ部にもこだわりを見せたい。

16 外壁作業

いよいよ建設はラストの段階へ突入…

17 完成!



丸喜齋藤組 HP

・住宅に関する、質問・ご相談・お問合せは電話・FAX・メール・郵便でいつでも受け付けております。
 展示場 E-mail: tenjijo@marukisaito.com TEL: 017-729-8832



instagram